

## 第5回国際園芸アカデミー有識者会議事概要

開催日時：令和2年12月23日（水）10:00～11:00

開催場所：県庁4階 特別会議室

出席者：知事

涌井 史郎 東京都市大学特別教授  
加藤 孝義 清流の国ぎふ花き戦略会議 会長  
柿本 亜矢 (公社)日本フラワーデザイナー協会 岐阜県支部長  
上手 繁雄 (一社)岐阜県観光連盟 相談役  
谷 基 岐阜県高等学校農業校長会 会長  
上田 善弘 花フェスタ記念公園 理事

<Web会議形式にて、以下5名はリモート出席>

磯村 信夫 日本花き振興協議会 会長  
齋藤 志穂 麓farm共同代表  
橘 俊光 (一社)日本公園緑地協会常務理事  
澤田 みどり NPO法人日本園芸療法研修会代表理事  
松尾 真吾 岐阜生花市場協同組合 理事長

計12名

<オブザーバー 4名>

小栗 達弘 株式会社岐阜造園 代表取締役会長  
今西 良共 国際園芸アカデミー 学長  
桂川 直人 農業大学校 校長  
小池 貴久 花フェスタ記念公園企画推進室長

### 1 議 事

- ・2つのワーキンググループの検討結果について  
「花と緑の振興センターWG」「教育環境の充実WG」
- ・国際園芸アカデミーの教育改革について
- ・有識者会議取りまとめ（総論）について

### 2 ワーキンググループと国際園芸アカデミー等からの報告

- 花と緑の振興センターWG [加藤座長]
  - ・様々な業界が連携するコンソーシアムを設置し、オンリーワンの商品づくり等新たな需要の創出に向け、企業主体のWGにより事業を行う。
  - ・中核を担う生産者の育成に向け「清流の国ぎふ花と緑の振興センター」を設置し、各種研修により技術力向上と経営能力向上を図る。
- 教育環境の充実WG [橘座長]
  - ・校内においては老朽化が進んでおり最新設備を導入する。
  - ・花フェスタ記念公園では、実習棟整備や作品展示や生産物を販売できる場を設けモチベーションやコミュニケーション能力の向上を図る。
  - ・郊外フィールドはインターンシップを充実させ実践技術の習得の強化を図る。
- 国際園芸アカデミーの教育改革 [今西学長]
  - ・自主的に考え、未来を切り開く人材育成に向け、「卒業認定に関する方針（ディプロマポリシー）」等、3つのポリシーを定め実施する。
  - ・花と緑の産業に直結した教育を実践するため、「教育体制の充実」、「経営感覚に優れた人材の育成」等5つの改革に取り組む。
- 有識者会議まとめ（総論）[事務局]
  - ・3つのポリシーと5つの改革による国際園芸アカデミー教育改革の推進
  - ・花フェスタ記念公園を活用した国際園芸アカデミー教育環境の充実
  - ・産官学金が連携した「(仮称)ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」設置
  - ・担い手育成と産業振興を担う「(仮称)清流の国ぎふ花と緑の振興センター」設置

### 3 委員の主な発言

- ・デジタル化で生産性、収益性を高める研究をコンソーシアムで行って欲しい。
- ・かつて上級マイスターで受け入れた多様な人材が今、業界で活躍しているので、多様な人材の受入れを今後どのようにするのか検討してほしい。
- ・企業と連携して民間の経営者を招いた授業を行うと良い。
- ・アカデミーが目指すものにSDGsの目標を盛り込むなど、グローバルな視点が見えると良い。
- ・花きの輸出はチャレンジして特産地化できれば、後継者もプライドをもって育ってくる。
- ・アカデミーは花フェスタ記念公園と連携を深め、公園と一体となった学校として世界にPRできることを期待する。

#### 座長（総括）

- ・施設園芸はスマホで管理できる可能性があり、最新技術の導入として生産体制のスマート農業化を推進すべき。
- ・デジタルストレスを救済する観点で、「岐阜発の新たな概念」を作り出すことに価値があると思う。
- ・園芸アカデミーには改革を行った結果に対して定量的達成できたか進捗管理を行うべき。

#### 今西学長

- ・科目等履修生、研究生の制度があり、積極的にPRして多様な人材の受入れを推進していく。
- ・企業経営者の授業を増やしていきたい。
- ・カリキュラムの中にSDGsの目標が繋がっていることを意識できるよう授業を進めていきたい。

#### 知事（所感）

- ・6年前に全国初の花き振興条例を施行して、花きの生産振興と文化振興という両面からいろんな政策を行ってきた。
- ・花き生産振興の一翼を担うのが国際園芸アカデミーであり、情勢変化に対応し、かつ企業が求める教育を行っていけるかということで議論が始まった。
- ・国際園芸アカデミーの議論と同時にコンソーシアム、そして花と緑の振興センターと、生産と学を超えたサイドからのアプローチを含めて、政策を進めていく方向にたどり着いたことに大変素晴らしく思う。
- ・担い手育成の入口から出口、そして人材育成から産業振興まで一貫した流れを作る体制整備、推進スケジュール等示していただき、これから先は県としてもスピード感をもって実現していきたい。
- ・しかし、全ての課題が終わったわけではなく、残された課題については、時期を見て皆様に検討をお願いすることもあると思っている。
- ・コロナ禍であればこそ、花の魅力を皆さんに満喫していただこうと、公の施設や会議場において花飾りを展開している。こうした事が花き振興にもつながる。
- ・アジア中心に岐阜の花きをPRしながら花に関わる研修や人材交流から始めており、やがて輸出に繋がることを期待しているので、輸出に向けた議論をコンソーシアムでしていただきたい。